

2018年(平成30年) 11月29日(木曜日)

街やショッピングモールがきれいに飾り付けられて、いよいよシーズン到来、わくわくしてきます。みなさんは今年のクリスマスをどのように迎えますか。家族や友人との食事を考えたり、プレゼントを用意する時間は楽しいことです。

かく言う私が小学生の頃、クリスマスをどのように過ごしていたか思い出してみました。当時、新聞には冊子になったおもちゃ屋の広告が折り込まれていました。広告には夢が詰まっています、ペンで印を付けながら、「あれも欲しい、これも欲しい」と来る日も来る日も穴があくほど見ていました。その頃の私は、長く続かないことで一時的な満足を得ようとしていました。

た。形あるものはいつか壊れてしまうことや、好みが変われば、いざ別なものを欲することが分かるまで、多くの時間とお金を使ったものです。

「すべての人を照らす光」との光があつて、世にきた」という聖書の言葉があります。そこには、2つの意味があります。

### 「すべての人を照らす光」

#### 南加キリスト教教会連合

井下 泰文

1、すべての人を照らす光  
本当に苦しんでいる人、悲しんでいる人にも届いて、すぐ側に寄り添ってくださる光です。また、神様なしでもやっていけるという人をも照らします。この方はすべての人のおかれている環境をご存じで、神様の平安を与える光として来てくださいました。

2、まことの光  
数年前、手伝っていた教会で慰労を兼ねて、とある食堂でクリスマスを祝いました。その教会は田んぼの真ん中にあり、近隣には街灯がまばらで、ほぼ月明かりと車のヘッドライトに頼って移動しました。運転してくれた方は道を良く知っていたのできちんと目的地に無事到着しましたが、私一人ではたどり着けなかったでしょう。このように、イエス様は、先行き不安な人の道しるべの光となってくださいます。イエス様が指し示してくださるのは天に知られる父。この方のもとに私たちをまっすぐ導いてくださる光です。世の中は長く続かないもので私たちが寄り道させますが、イエス様は永遠に続く方を指し示すまことの光となってくださいます。

さてクリスマスは何をお祝いしているのか思い巡らしたことはありませんか。クリスマスという言葉には、人となつて地上に來られた神の子イエス様を、救い主として礼拝するという意味があります。

すべての人を照らすということは、この光に照らされたい人はいないという言い方です。イエス様は、全世界のどのような身分の人であっても照らすことができる光として來られました。ですから、今

に、イエス様は、先行き不安な人の道しるべの光となってくださいます。イエス様が指し示してくださるのは天に知られる父。この方のもとに私たちをまっすぐ導いてくださる光です。世の中は長く続かないもので私たちが寄り道させますが、イエス様は永遠に続く方を指し示すまことの光となってくださいます。

かつてこんな素晴らしい知らせがあつたでしょうか。イエス様こそ、神様が私たちに贈ってくれたプレゼントで、永遠に変わることがなく、神様の平安を与えてくださいます。今年のクリスマスは、お近くの教会で迎えてみませんか。

(ウエストコピナキリスト教会)